

令和2年6月9日

文部科学大臣
萩生田 光一 殿

令和3年度文部科学省関係予算要望事項

特定非営利活動法人全国LD親の会
理事長 井上 育世

COVID-19 の流行により、社会のあらゆる場面における「新しい生活様式」が求められている中、今まで以上に一人一人が互いを尊重しあえる社会の実現に向けて、感染症対策としての暫定的な措置にとどまらず、発達障害のある子ども達も含めたインクルーシブな環境設定や学習方法を位置付けていただきたい。

1. 通常の学級における学級規模を小さくして指導の充実を促進すること

- ・クラス数の増加のために十分な教職員数を確保すること
- ・教室における児童生徒の間隔の確保は、教員と生徒・生徒どうしの情報伝達も疎になりがちであることから、支援員を配置し、児童生徒の学びを確かなものにする

2. 合理的配慮を確保しつつ、インクルーシブ教育システムの充実の推進を図ること

- ・すべての教職員に対し、特別支援教育および合理的配慮についての理解を促進すること
- ・特別支援教育実施の責任者である校長がリーダーシップを発揮して、複層的な校内支援体制を整備し、推進していく組織を作ること
- ・幼児期・小学校から大学までライフステージを通した途切れない支援システムの構築を推進すること

3. GIGA スクール構想による ICT 機器の整備を進め、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを確立すること

- ・ICT 機器を取り入れた学齢に応じた有効な指導方法を確立すること
- ・教育に関する ICT の活用についての専門家チームを組織し、各教育現場での個別のニーズに対応していくこと
- ・すべての教員に対し、ICT 機器についての技術の研修をおこなうこと
- ・一人一人の学び方に応じて、学校での学習と家庭学習を連動させた ICT 機器の活用を図っていくこと

4. 発達障害の特性に応じた緊急時の支援対策を整備・周知すること・

- ・発達障害の特性にあわせた対応方法、留意点等をまとめたマニュアルを整備し、周知を図ること
- ・緊急時でも連携を図って対応を取れる「トライアングル」プロジェクトを構築すること